

# 不退転

第 209 号  
東江中学校  
校長 神元 勉

## 4年間お世話になりました!!



東江中学校に赴任して、早4年が過ぎ、いよいよ退職です。この4年間、本当に素晴らしい生徒・先生方・保護者そして、地域の皆様に恵まれ、毎日が感動と感激で幸せな日々でした。そのような感動と感激をみんなに分かち合いたいという思いで、学校便り「不退転」を発行してきました。

学校全体がすっかり落ち着き、活気に満ちあふれ、生徒たちは数多くの輝かしい実績を残してくれました。国頭村長杯争奪野球強化大会での優勝、女子バレーボール部の各種大会での3連覇、地区夏季総体での男子バスケットボール部の優勝、新人総体での女子バスケットボール部の優勝、地区陸上競技大会での男子総合3位の他、ボクシング、相撲、水泳、空手など、各種大会の活躍に加え、各種コンクールやコンテストでの文化面の活躍や、各種検定での3級以上合格者を多数輩出し、図書貸出冊数も過去最高の一人平均94.8冊を記録するなど、目覚ましい活躍を見せてくれました。それらが物語るように、私の発行する学校便り「不退転」も今年度は209号を数えました。

また、「学びの共同体」の理念に基づく授業改善も随分と定着し、各種学校訪問が相次ぎました。そして、訪問者から「訪問する度に、

2018年3月16日撮影 小雨



生徒の表情が良くなっていますね。「みんなで学び合う関係が育っていますね。」「素敵な学校になってきましたね。」などと絶賛され、本校の名声をますます高めてくれました。

そして、生徒会活動も一層活性化し、『立腰・黙想』の取組は、他校へも波及し、兄弟学級の縦割り班による『黙動清掃』へと進化し続けています。また、新入生歓迎会や運動会、校内合唱コンクールの審査の合間の「不退転祭り」など、アイデアいっぱい演出で全校生徒を大いに楽しませてくれました。

先生方も大変素晴らしいです。まず、教頭先生が、校長の意をくみ取り職員を立派に束ね、ベクトルを一つに向けてくれました。それに応える先生方の同僚性も素晴らしい、一枚岩になって「チーム東江」で教育活動に専念してくれました。

今後も、生徒も先生方も保護者・地域の方々もみんなで学び合う「学びの共同体」の理念による、授業改革を中核とした学校改革を推進してほしいと切に願います。

最後になりますが、4年間本校の学校教育にご理解とご支援をいただきました保護者や地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

## ワカリピーサー

沖縄には、以前紹介した寒さを表す方言で「トゥンジーピーサー」、「ムーチーピーサー」、「ワークルサーピーサー」意外にも「ムドゥイピーサー（寒の戻り）」、「ワカリピーサー（寒の別れ）」という方言もあります。

今週は、暖かい日が続いていますが、先週末の卒業式の頃が、「ムドゥイピーサー」だったようです。

そして、「ワカリピーサー」が来ると、一気に冬が終わり、本格的な暖かい春の到来です。

もうすぐ県内各地で海開きが行われ、夏に向かいます。



校内の草花も、私たちの門出を祝福するかのように、百花繚乱(様々の花がいろいろ美しく咲き乱れること)です。